

# 令和三年度総会開催

石垣市シルバー人材センターの令和三年度総会が、去る五月二二日にアートホテル石垣島で開催されました。



総会はコロナ禍のため参加人数を絞り、出席者は二六名、委任状一三二名で全員マスクを着用し、万全の感染対策を実施して行なわれました。大松理事長の挨拶に続き、中山石垣市長、平良石垣市議会議長に祝辞をいただき、議長に平地正さんを選任した後、古謝事務局長の事業報告がありました。

## ◎ 中山市長祝辞

本日、「公益社団法人 石垣市シルバー人材センター令和三年度定期総会」が開催されるにあたり、「ご挨拶を申し上げます。

会員の皆さま方には、日頃より、石垣市のまちづくりに格別のご支援とご協力を賜り厚く感謝を申し上げます。

貴センターは、平成四年の設立以来、高齢者の健康で生き甲斐のある生活実現と地域社会における福祉の向上及び活性化に貢献すること、会員数も三八〇名を数え、令和二年度の受注契約額も一億四千五百万円を超えるなど着実に発展して来られました。

大松安元 理事長をはじめ、役員、会員の皆さま方の取り組みに深く敬意を表する次第であります。

さて、「南ぬ島石垣宮港」が開港して八年、これまで多くの関係者をはじめ、関係機関、団体等のご尽力により、入域観光客数は令和元年度にこれまでで最も多い一、四七一万人台を記録し、石垣市全体が活性化されましたが、新型コロナの影響で、入域観光客数も六四万人台までに大きく落ち込み経済が危機的

シルバー人材センター

**基**  
**本**  
**理**  
**念**

**自主** 社会の受け手ではなく、社会の担い手として

**自立** センターの運営に自発的に参加していくこと

**共働** 会員みんなが、お互いに手を携えて

**共助** 共に助け合って働くこと

「みんなで覚えておこうね♪」

「シルバー人材センターに行ったら、これまでの経験を活かして働けるってよ〜」「地域のためにも働けるってよ〜」「新たな挑戦が毎日の喜び〜」

行ってみよう〜石垣市シルバー人材センター

「石垣市にお住まいの六〇歳以上の方お待ちしています。」

サンサンラジオで流れる♪



### ◎ 平良市議会議長挨拶

皆様おはようございます。只今ご紹介をいただきました、石垣市議会で議長を務めさせて頂いております平良秀之と申します。本日は皆さまもご存じの通り、石垣市でコロナの感染が拡大しているなか、シルバー人材センターの職員の皆さまには、感染予防の観点から大変ご苦労があったと思います。また今日、参加した皆さまも一人一人が気を付けてのご参加だったと思います。

な状況になっています。景気の回復を図り、活力ある街づくりを推進していく為には、高齢者の社会参加が必要不可欠だと考えていますので、シルバー人材センターの果たす役割は、ますます重要になってくるものと思います。

会員の皆さま方には、これまで培ってこられました、技術や知識、又は経験等を大いに活用していただき、尚一層、お力添えを頂きますようお願い申し上げます。

また、石垣市では六五歳以上を対象とした新型コロナウイルスワクチン接種が始まっています。早めの予約・接種にご協力下さいますようお願い申し上げます。

結びに今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を乗り越え、石垣市シルバー人材センターの設立の基本理念であります「自主・自立・共働・共助」のもと、益々、発展充実されますと共に、会員皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます、お祝いの言葉とさせていただきます。

今日はざっくりばらんに挨拶をさせて頂くことをお許し頂きたいと思えます。始めに、シルバー人材の皆様には、お仕事を通されまして地域社会そして近隣の皆様含めて多くの方々に、地域貢献してくださっていることをまず心より感謝を申し上げたいと思えます。今、コロナ禍で厳しい状況であります。コロナ感染はやはり密集であったり、三密、人の移動によって感染が拡大することもあり、行動を制限せざるを得なくて多くの影響、経済的な打撃も受けております。今日の資料を先ほど目を通しましたら、皆様の収益においても前年比七七〇万を超える減収になっていることも確認させていただきました。また、このお話だけだと暗い話になりますので、ひとつ調べてきたことをお話したいと思えます。それは、国立長寿医療研究センターというところがありますが、そこで発表になっているものでありますけれども、定年を迎えて働くこと、地域と繋がるのがさまざまな良い影響を及ぼすという事、その中の一つが、

いま社会的な問題になっております認知症にも関係するという事を発表されています。社会に繋がること、人と交わることによって認知症を予防する効果が大きいという事を発表しております。会員の皆様には、一人一人が様々な理由でこのシルバー人材センターに登録をされ、お仕事をされていると思えます。その中でも、日頃から体を動かす、それによって収入を得る喜び以外にも一人一人に健康をもたらししているということがその研究の発表になって明記されておりますので、これも一つの喜びとしていただきたいと思えます。

むずびになります。大松理事長を中心に職員の皆様は安全にも配慮して、シルバー人材センターの運営に携わっておりますが、会員三八〇名の皆様と共に協力をしながらこれからの石垣市づくりに是非ともまたお力添えを賜りたいと存じます。そして、お一人お一人の皆様の健康と会の益々のご発展を祈念申し上げます、市議会を代表してのあいさつにかえさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

### ◎ 令和三年度事業報告

石垣市シルバー人材センター、高齢者の就業機会の拡大を図り健康や新たな生きがいと活力ある地域社会づくりに貢献することを目的として事業を運営してまいりました。

少子高齢化が進展し人口が減少する中において、高齢者に対する生活援助や人手不足分野等における会員の就業を通して、シルバー





人材センター事業への期待がますます大きくなっていきます。

そのような中、当センターは安定的な財政・事業運営を図るべく、センター運営の指針として平成三十年度に策定した「第二次中期事業計画（平成三十年から令和二年度）」及び「令和二年度事業計画」に基づき、「会員拡大」「就業拡大」について重点的に取り組み、派遣事業の開拓、就業会員の確保を図り

ましたが、令和二年度、沖縄県はもとより石垣市においても新型コロナウイルス感染症が蔓延し収束の兆しが見えない中、事業を展開してきました。

その結果、請負契約金額は、昨年順調な伸びを示していましたが、今年度は対前年度比七、七四九、三九五円減の実績となりました。これは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止による民間施設の閉館や休業などの影響が主な要因と分析しています。その中で労働者派遣事業が四、四一六、〇一五円と顕著な実績を上げました。

一方安全就業の取り組みについては、安全管理委員会と安全適正就業推進員が中心となり、毎月一回の安全集会を開催し、事故が発生した時は緊急安全集会の開催と巡回パトロールの回数を増やすことにより、就業会員の安全就業意識の向上に取組んだ結果、事故件数は二件となりました。また、現在新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下、会員の感染リスクなど安全就業面が懸念される中、事務局から会員への情報提供及びマスク配布・就業各現場へ手洗い消毒液の設置を行いました。安全就業はシルバー人材センター事業遂行の基本であり、次年度も引き続き傷害・損害事故の撲滅及び新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、安全適正就業に努めてまいります。

### ◎ 令和三年度事業計画概要

令和二年に日本全国そして沖縄県内に蔓延した新型コロナウイルスは、石垣市でも感染

が確認され、シルバー人材センター事業にも少なからず影響を及ぼしています。令和三年に入っても新型コロナウイルス感染症収束の兆しが見えない中ではあります。

また、会員が就業することにより地域の活性化につながります。加えて、社会参加を促すことにより健康維持・介護予防を図り、元気な高齢者を増やし、結果として医療費・介護費の削減も期待できます。

こうした中、当シルバー人材センターでは、センターの安定的な財政・事業運営の健全化に向け、最重要課題として「会員の拡大」及び「就業の拡大」に取り組み、今後は従来の請負・委任による就業形態のほか、多様な働きが可能となる「労働者派遣事業」を積極的に活用し、派遣コーディネーターによる派遣事業の拡大を図ります。

引き続き令和三年度も基本理念に基づき、会員・役職員が一体となり、行政や関係機関と連携を深め、就業機会の拡大と安全・適正就業の徹底を図るとともに、高齢者の知識・経験を生かした活力ある地域社会づくりに貢献し、公益法人として「市民から信頼され、魅力あるシルバー人材センター」を目指して事業を進めてまいります。

#### 一、基本理念

石垣市に居住する高齢者が自主的な組織参加と労働能力の発揮により、組織の基本理念「自主・自立・共働・共助」のもとにセンターの発展を推進し、地域の担い手として高齢者の活力及び地域社会の活力向上を目指す。

◎ 役員を選任

令和三年定時総会終結から令和五年定時総会終結の時までの、石垣市シルバー人材センター理事及び監事が次のように選任されました。

理事長	大松 安元
副理事長	棚原 長武
理事	下地 勝
理事	中川 栄治
理事	田村 治義
理事	大浜 勝彦
理事	赤嶺 ヨシ子
理事	仲大盛 有貴江
理事	松山 洋美
理事	底原 欽一
理事	上地 美智枝
理事	砂川 ヒロ子
理事	平地 正
理事	石垣 博史
監事	新城 まりえ



私の趣味紹介

ん！八重山音楽協会？

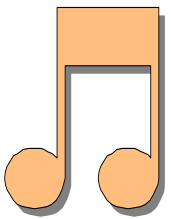
大浜 勝彦

昔、八重山には文芸協会・演劇協会・音楽協会があり、お互い協力しあいながら八重山の文化を継承・発展させてきたという。現在は文化協会・音楽協会があり、活動している。

私は音楽協会で郷土の音楽家や作品の顕彰活動をしている。昨年は音楽協会十周年を迎え、「音楽協会十周年の歩み」の発刊や「よみがえれふるさとの歌」の歌曲集とCDを制作した。

これまで六回のコンサートと音楽劇を開催することができた。石垣市役所移転に向けては「音楽芸能館」の建設要請なども行なった。印象に残っているのは、石島英文氏の音楽劇「潮がれ浜」公演で、音楽の編曲をしたことである。

英文氏は私の高校時代の恩師で、文学者であり作曲家である。上京中英文氏の詩に作曲して送ったことがある。「マンゴーの実」で先生の賛辞をいただいた思い出は忘れられない。音楽協会を通して、島の歌を広めたいと思う。



お知らせ

★主要行事予定

◎ 石垣市シルバー人材センター安全・適正就業推進大会  
 場所 市老人福祉センター集會室  
 日時 令和三年七月十三日 九時

★事務局からのお知らせ

会員の携帯電話に、ショートメッセージ(SNS)でセンターからのお知らせを一齐送信するサービスを開始します。  
 ショートメッセージ送信元の番号  
 ・NTTドコモ・楽天モバイル 050-5491-4105  
 ・ソフトバンク・ヤフーモバイル 242244  
 それぞれからメッセージが届きます。



編集後記

新型コロナウイルス接種が佳境に入ってきましたが、まだまだ感染が収まる気配もありません。緊急事態宣言が発令されたままの状況ですので、さらに注意してください。

【編集発行】 公益社団法人

石垣市シルバー人材センター

〒907-0002

沖縄県石垣市真栄里402番地

TEL 0980-83-8439

FAX 0980-83-8459